

## ■ グリーンインフラとは

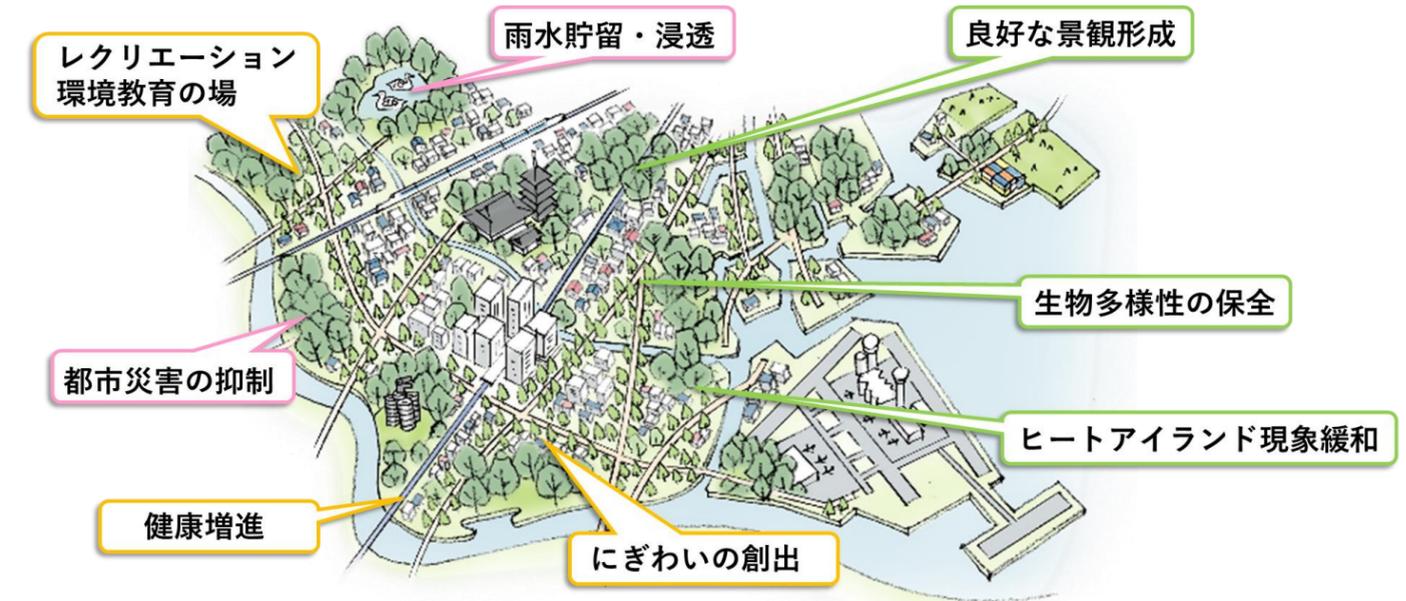
住みやすいまちをつくる社会基盤施設（インフラ）に、海、河川、池及び公園等の自然環境（グリーン）が有する機能を活用することで、まちづくりの課題解決につなげる取組です。

## ■ グリーンインフラが求められる背景と意義



大田区でグリーンインフラに取り組むことで、まちなかのみどり空間を活用し、複数の地域課題の解決につなげていきます。

- グリーンインフラ導入に伴う留意点
- 自然環境が有する多機能性を十分に発揮させるみどりの取組推進
  - 公民連携や分野横断の視点を重視して取り組む連携体制の構築



## ■ グリーンインフラ事業計画の位置づけ

グリーンインフラ事業計画は、「大田区基本構想」、「大田区基本計画」及び「大田区都市計画マスタープラン」に則している「大田区緑の基本計画グリーンプランおおた」（以下、グリーンプランという）において、重点的な取組の一つに位置付けられています。

## ■ 大田区を取り巻く動向

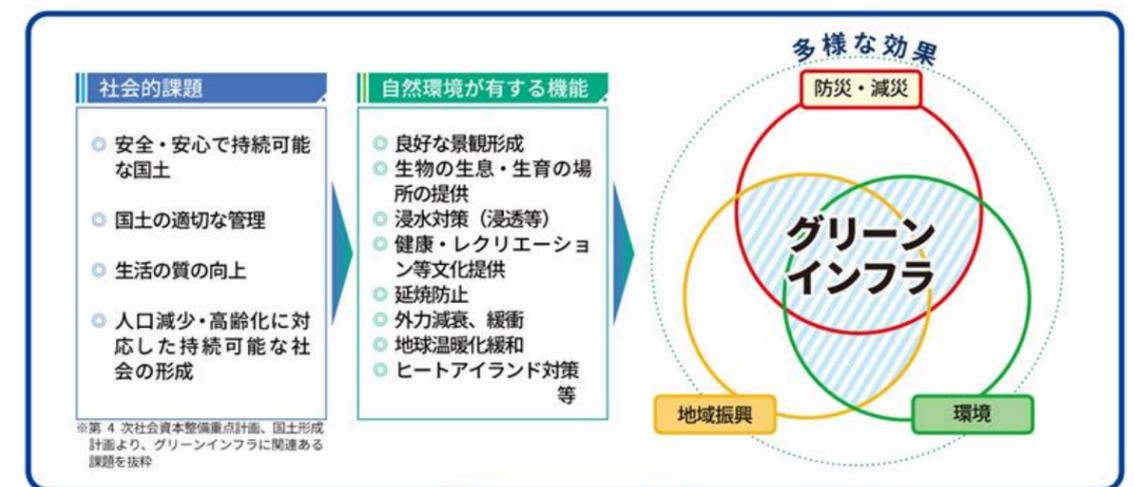
- (1) 社会的動向
- ①ネイチャーポジティブやカーボンニュートラルなど環境に関する世界的な潮流
  - ②社会資本整備やまちづくり等におけるグリーンインフラへの期待
  - ③SDGsやWell-being等新たな社会像の実現に向けたグリーンインフラへの期待
- (2) 大田区が目指すみどりのまちづくりの将来像
- グリーンプランは、基本理念に基づき、みどり豊かな潤いのあるまちのあるべき姿として3つの将来像を定め、目指すみどりのまちの実現に向けて取り組んでいます。

### グリーンプランの将来像

- ◆こころ豊かに住み続けられる「みどりあふれるまち」
- ◆多様なみどりが広がる世界に向けた「おもてなしのまち」
- ◆みどりがつながる「地球にやさしいまち」

## ■ 課題解決に向けたグリーンインフラの視点

自然環境への配慮を行い、巧みに関与、デザインすることで、自然環境が有する多様な効果を発揮させ、様々な地域課題に対応します。



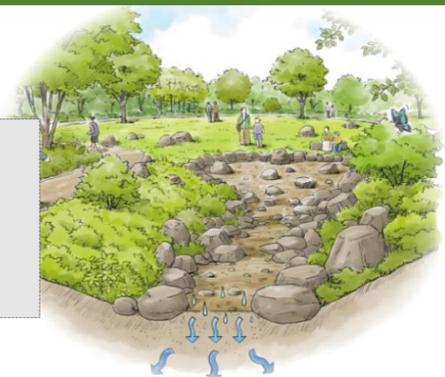
- 防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供への貢献等、地域課題への対応
- 持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

# みどりのまちづくりにおけるグリーンインフラ視点の課題

## 防災・減災

### 【課題】

- みどり空間を活用した内水氾濫の軽減
- 内水氾濫等に対する防災・減災意識の向上



## 環境

### 【課題】

- 暑熱環境の改善に寄与するみどりの創出
- 快適な住環境の創出につながる質の高いみどりの創出



## 地域振興

### 【課題】

- にぎわい空間の創出
- 身近なみどりによる景観形成



# グリーンインフラの推進に向けた方向性

## 大田区におけるグリーンインフラ推進方針の考え方

- ①自然環境が有する多機能性を十分に発揮させる
- ②分野横断の視点を加味し更なる効果を引き出す
- ③多様な主体と連携しグリーンインフラを使いこなす

## グリーンインフラ推進方針

グリーンインフラの導入は、「**防災・減災**」、「**環境**」、「**地域振興**」の3つの視点から多様な効果が期待されます。

自然環境が有する機能を利活用することで、単独の効果を促すだけでなく、複合的な効果を誘導し、地域が抱える様々な課題解決につなげていきます。

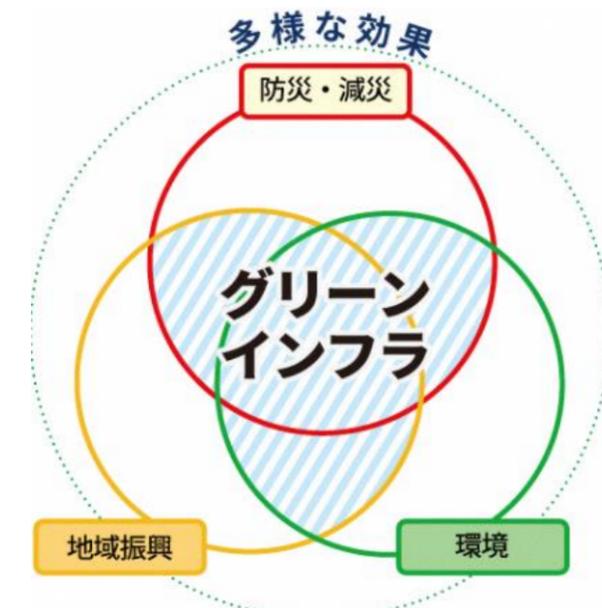


図 グリーンインフラの効果

## 防災・減災

- ① 内水氾濫による浸水防止、外水による河川氾濫を抑制する雨水流出抑制を図るための、公園・緑地、道路空間における雨水貯留・浸透機能の確保

## 環境

- ① 市街地における屋外での快適な活動を行うことのできるみどりを活かした暑熱環境の緩和
- ② 豊かな生態系の保全・育成する拠点となるみどりの確保、拠点となるみどりのネットワーク形成
- ③ 居心地のよい都市空間を形成するみどりの創出

## 地域振興

- ① 都市拠点における公民連携によるにぎわい形成に寄与するみどりの創出
- ② 駅周辺をはじめとする空間の魅力や、観光拠点としての風格を高めるみどりの創出による街の付加価値の向上
- ③ 区民にとっての憩いと交流の場となる公民連携による快適なオープンスペースの形成と維持管理

# 類型別グリーンインフラ導入方針

大田区の地形は、グリーンプランにおいて、台地部、低地部、空港臨海部に大別しています。  
また、特徴的な地形や用途に応じて土地利用を分類し、公園・緑地や市街地等の各区分に応じたグリーンインフラ導入方針を示しました。



## グリーンインフラ推進に向けた目標

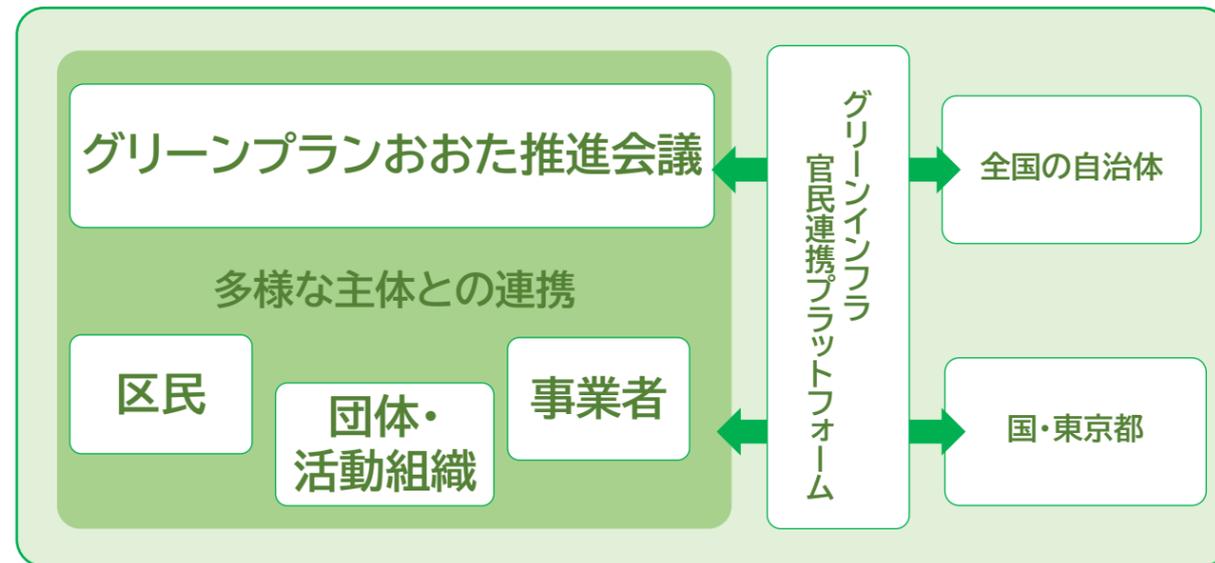
「防災・減災」「環境」「地域振興」の視点からグリーンインフラを推進するための目標を設定します。

防災・減災	目標推進	<b>民地・公共施設における雨水の一時貯留</b> ≪目標値≫ 各敷地を対象に、グリーンインフラ機能による降雨5.5mm/h分の雨水貯留・浸透量の確保を目指す。
	目標推進	<b>緑の多さの満足度の向上</b> ≪目標値≫ 区民による“緑の多さ”に関する満足度について、70%を目指す。
	目標推進	<b>みどり空間の維持管理による避暑機能の充実</b> ≪目標値≫ グリーンプランで示す9つのみどりの拠点について、木陰等における体感温度-7℃を目指す。
環境	目標推進	<b>生物生息空間の保全・創出</b> ≪目標値≫ 公共施設における生物生息空間(公園・緑地、学校のビオトープ等)の箇所数を基準値として、それらの保全・創出を目指す。
	目標推進	<b>大田区への定住意向の確保</b> ≪目標値≫ 区民による“定住意向”について、85%を維持・向上する。
地域振興	目標推進	<b>住んでいる街の魅力度の確保</b> ≪目標値≫ 区民による“住んでいる街の魅力度”について、70%を維持・向上する。

## グリーンインフラ事業計画の推進に向けて

### ■グリーンインフラの推進体制について

当計画に基づく取組を総合的かつ計画的に推進していくため、グリーンプランおおた推進会議を中心として、各関係部署が連携・協働し全庁的に取り組みます。



### ■グリーンインフラ事業計画の見直しについて

各年度の取組の点検・評価と、計画期間における改定・見直しを図るため、P D C Aサイクル(Plan=計画、Do=実行、Check=点検・評価、Act=見直し)による進行管理を行い、当計画をより実効性の高いものとしします。

